



まきた 牧田っ子 No. 5

TEL 378-0516

FAX 378-9530

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp./maki-e/>



こうしゃ しんりよく のぞ
〔校舎から新緑を望む〕

5年生の自然教室が実施されました・・・5月18日(水)

5月18日(水)、5年生の自然教室が鈴鹿青少年センターで実施されました。当日は、青少年センターまで歩き、入所式を行った後、「焼き杉」の創作活動を行い、お弁当を挟んでキャンプファイヤーを行いました。「焼き杉」では皆上手に杉板を焦がして素敵な作品を完成させました。また、キャンプファイヤーでは、「キャンプだホイ」や「ジェンカ」、「マイムマイム」などでとても盛り上がり、5年生全体で一つの輪になって踊り歌いました。コロナ対策でデーキャンプとなりましたが、子どもたちには記憶に残る自然教室になったことと思います。



や すぎ
(焼き杉：ガスバーナーの使い方です)



も あ
(とても盛り上がったキャンプファイヤー)

6年生の社会で民生委員・児童委員の藤見さんにお話を伺いました ・・・5月24日(火)

6年生社会の授業で、牧田地区の民生委員児童委員協議会・社会福祉協議会の会長の藤見康司さんをお招きして、民生委員や児童委員、主任児童委員のお仕事についてお話を伺いました。民生委員は困っている地域のみなさんの「相談役」であり、適切な関係機関への「つなぎ役」です。地域の子どもからお年寄りまで、様々なネットワークを駆使して支援する活動をされています。将来地域の担い手となる子どもたちにとって、非常に意義ある学びとなりました。



かあ かた しえん
(お母さんになった方の支援について)



こうれいしゃ かた しえん
(高齢者の方の支援について)

いきいき教室の授業を紹介します



(日数の難しい数え方)



(定番の漢字の学習もします)

牧田小学校には、たくさんの外国につながるの児童がいます。その中には、日本語の「聞く」「話す」「読む」「書く」力をもっと伸ばせるように、日本語の勉強をしている児童がいます。子どもたちは単に単語を覚えるのではなく、同じ学年で使っている教科書などで教室の授業や活動で必要になる単語や語句を中心に、授業や生活体験と重なるよう配慮しつつ、言語として学ぶ取り組みをしています。これが鈴鹿市教育委員会が、早稲田大学大学院日本語教育学科と提携しながら14年前から進めている「鈴鹿モデル」と呼ばれている日本語教育です。現在でも先進的な取組であり、全国から注目をあつめています。

なかよし学級を紹介します



特別支援学級「なかよし」の授業風景です。特別支援教育では、「特別な支援を必要とする子どもたちの自立と社会参画に必要となる力の育成に向け、一人ひとりの状況に応じた学びの支援を行います。」

(※三重県教育ビジョンより引用)

コロナ禍で全国的にICT機器の学校導入が早まり、新しい学習指導要領では、「個別

最適な学習」の推進が重要視されています。このように21世紀型の新しい学校教育では、今まで特別支援教育が行ってきた方法や視点が、様々な場面で広く活用されるようになってきています。また同時に、互いに尊重し合う共生社会の実現に向けて、全ての人々の、特別支援教育への理解と関心がより一層求められています。

大切なお知らせ

- 7月5日(火)は、授業改善に向けた教職員研修のため、全学年5限で下校となります。下校時刻は14時20分です。ご理解とご協力をお願いいたします。
- 児童の昇降口は、現在7時50分に、毎朝開けることとしています。ご了承くださいませ。よろしくお願いいたします。